

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	矢口 健二	電 話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3244		事務事業名称	衛生センター施設管理事業					短縮コード	経常	3244	臨時	3245
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和40年に日量36klの処理能力を有する吉橋処理場の完成と同時に開始される。 し尿及び浄化槽汚泥処理施設の維持管理。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
衛生的で快適な生活を営むため、公共下水道の普及や浄化槽への切換えで、し尿の汲取り世帯は毎年減少している。しかし一方では、住宅建設などの工事現場での汲取り業務が一定量ある。 また、他市との共同処理(広域化)も検討課題の一つでもある。						大項目（節）	03	環境・衛生					
						中 項 目	04	し尿処理					
						小項目（施策）	01	処理体制の整備					
						細 項 目	01	衛生センターの適正な管理運営					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	し尿処理施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 財団法人八千代市環境緑化公社へ衛生センターの維持管理業務の委託を行った。 衛生センター焼却炉等改修工事と設備機器改修工事(前処理設備・破砕機整備)を行った。						
	※平成21年度に計画していること： 財団法人八千代市環境緑化公社へ衛生センターの維持管理業務の委託を行う。						
意図 （何を狙っているのか）	施設の適正な維持管理を行う。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	処理能力	kl/日	40	40	40	40
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	し尿，浄化槽汚泥の処理量	kl	10,040	10,040	9,941	9,941
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	施設の稼働日数	日	365	365	365	365
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3244	事務事業名称	衛生センター施設管理事業				所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			し尿処理施設の共同利用と適正配置部会についてH19年度より八千代市・船橋市・市川市・鎌ヶ谷市・白井市・習志野市にて協議中であるが、現時点では修繕等を行い事業の継続を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			将来的に広域化の検討を進めるが、実施時期は未定である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特に無し									

所属長コメント	広域化も視野に入れ検討しつつ、施設の適正な維持管理に努めていくことが望ましい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			現状のまま継続とするが、広域化については検討を要する。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									